

活動日時	令和7年7月28日（月）
クラス名	幼児クラス（3・4・5歳児）

### 1.活動テーマ

《テーマ》

自分だけの色を作ってみよう

《テーマ設定理由》

日頃からお絵描きなどの遊びの中で混色に興味を示し、いくつかのパターンを覚えている様子が見受けられるので、パターンに囚われず何色かを混ぜてオリジナルの色を作ったら更に興味が広がるのではないかと考えた。また、暑い時期ということもあり色水で混色を行ったらより楽しめると思い設定した。

### 2.活動スケジュール

3歳児5名、4歳児3名、5歳児1名で行う。

- ・原色を使い混色した後、白や他色を加えてさらなる色の変化を見る。

### 3.活動のために準備した素材や道具

- ・絵の具 ・プラコップ ・ペットボトル ・水 ・筆

### 4.環境構成

- ・ブルーシートや新聞紙を敷き、汚れてもいい環境を作る。
- ・子どもの興味や発見を大切に声掛けを行う。

### 5.探究活動の実践

《活動内容》

- ・絵の具を入れた容器に水を加えると水に色が付く様子を見て、興味を引き出す。
- ・一人一つのプラコップに好きな色の色水を少しずつ入れ、色の変化を楽しむ。
- ・混色後はできた色に名前を付けたり、ままごとに用いたりして遊びを発展できるよう援助する。
- ・どんな色ができたか見て分かるよう写真に残し、印刷して保育室の見えるところに飾っておく。

### 《活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり》

- ・初めに保育者が水に絵の具を入れる時から「赤い絵の具を入れたら赤かな？ピンクかな？」と想像を膨らませ、興味を持っていた。
- ・自分なりにイメージを持って色を選び、本当にその色になるのか確かめたり、3色以上など好きな色を全て混ぜて色の変化を見たりと遊びが広がっていた。また、できた色水をジューズに見立ててごっこ遊びを楽しむ姿が見られた。
- ・混色を楽しむうちに「色水だけじゃなくて、透明の水も足したらどうなるんだろう？」などと子どもたち自身が気付き、自分なりに試したり工夫したりして学びを深めていた。



### 6.振り返り

《振り返りによって得た保育者の気付き》

- ・赤と青、赤と黄、など知識として知っている組み合わせだけでなく、何色も自由に混ぜて遊んだことで子どもたちの中で新たな発見が多くあって良かったと思う。
- ・同じ色を選んでも割合によってできる色が少しずつ変わったり、水を足すと色が薄くなったりすることに自ら気付く子もいて、他児に共有して遊びがより広がっていた。
- ・床にビニールシートを敷いたが、水道との行き来などで濡れてしまい危ない場面もあったのでもっと環境を工夫出来たら良かった。また、色水を途中で作り足すことが多かったので、より大きなペットボトルを用意しても良かった。